

第33歩

高松DAPPYからの提案

魅力的なネーミングの近未来の地域社会における10の先端的サービスが挙げられています。高松市のスーパーシティ構想です。

本市では、ICTを活用して人口減少、少子・超高齢社会においても持続的に成長し続けるまちづくりを実現する「スマートシティたかまつ」の取り組みを更に発展させるため、スーパーシティ型国家戦略特別区域の指定を目指しています(令和4年1月10日現在未指定)。その構想の中で先端的サービスとして7つの分野で10のユニークな事業の提案を行っています。

例えば、バスとタクシーの利点を掛け合わせた持続可能な公共交通システムを目指す乗り物としての「バタクス」の導入。タクシー事業に相乗りと変動料金制を同時に導入し、郊外部における住民の足を確保しようというものです。また、離島でドローンなど最新デジタル技術を使ったアクティブな活動を子供達に提供して、より逞しい人材育成を図っていこうという「せとうちちよいスクール」という提案もあります。これは、ちょっとした学校という意味と、賢い選択と言う意味の「チョイス クール」を掛けています。それから防災の分野では「逃げ遅れゼロ」。災害時において、被害の発生をいち早く予測できるようにするとともに、災害の状況を知らせるだけではなく、支援が必要な人の情報が周囲の人に伝わることで、地域住民が手を取り合って避難ができるようにするためのサービスです。

これらネーミングを含めてユニークな事業が提案できたのは、若手職員を中心に20名弱の高松市スーパーシティ準備チーム(愛称:高松DAPPY)を設置し、前例や現行制度、組織の縦割りにとらわれず検討を進めてきた成果だと思っています。ちなみに、「DAPPY」とは、「ポテンシャル(可能性)、力強さ、若さを備えたデジタル同盟」を意味する英語の頭文字をとったもので、「DAPPY=脱皮」と掛け合わせています。

今後、国指定の有無にかかわらず、各事業についてより具体的な検討を行い、デジタル技術を中心に未来をいち早く取り入れた、有用で市民に喜ばれる先端的サービスを展開して参りたいと思っています。

チーム愛称

高松DAPPY

Digital Alliance whicu is
Potential, Powerful and Youthful

ポテンシャル、パワー、若々しさ
を兼ね備えたデジタル同盟

DAPPY = 脱皮

